

採択拠点の拠点形成概要及び採択理由

【分野名：数学、物理学、地球科学】

大 学 名	東京大学	整理番号	G - 1
拠点のプログラム名称	科学技術への数学新展開拠点		
中核となる専攻等名	数理科学研究科数理科学専攻		
事業推進担当者	(リダー) 楠岡 成雄 外19名		
<p>(拠点形成の概要)</p> <p>本計画の目的は数学及び数学応用の研究及び教育を長期的な視点に立って自由な雰囲気で行える世界的拠点を形成することである。拠点は数学応用インターフェイス基地（以下基地と呼ぶ）及び数学研究のための3研究部門（構造、非線形、大域）よりなる。基地には、戦略本部を置き、プロジェクト全体の統括、企画・立案を行う。戦略本部の下にいくつかの研究班を作り数学応用の研究を担当する。3研究部門は数学研究の活性化をはかると同時に、研究班への研究支援や応用研究の提案も行う。これら研究活動にRA、ポスドクを参加させていくことで若手研究者の育成をはかる。国際共同研究、国際研究集会を行い、研究者の交流を図ると共に研究成果を世界に発信していく。また、公開のスクールを開催することにより大学外の若手研究者育成にも寄与していく。研究班の活動を通じて得られた数学応用の研究の実例を基に、事例研究演習という新教育カリキュラムの開発に力を注いでいく。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>これまでの日本の数学教育において十分でなかった「数学の社会への応用」の可能性を探ることを中心目的としていることは高く評価できる。事業推進担当者は純粋数学各分野で世界最高水準の研究実績を持っており、社会への応用に密接な関係をもつ数理科学でも優れた実績があるので、目標の数学新展開拠点形成が期待できる。</p>			